

6章

質問 29-38

聖霊による贖いの適用

質問 29 キリストによって用意された贖いに 私たちはどのように参加できるのですか。

答え I キリストによって用意された贖いの恵みを 聖霊が有効に私たちに適用させることによって 私たちは参加できるのです。

1. 贖いの意味は 何ですか。

贖いというのは、奴隷と捕虜状態にいる者を、代価を払って買い取ってくださることを意味します。罪人である私たちは、罪によって奴隷状態にいるしかありません（ガラテヤ 4:24）。最も、私たち自らは対価を払って自分を救い出せることもできません。その対価が余りにも高価でできないのです（I コリント 6:20）。結局、だれかが、罪に対する対価を支払ってくだされば、売られて行く

のを避けられます。キリストが血を流すことで対価が支払われました（I ペテロ 1:19）。私たちが罪から贖いました（ヘブル 9:26）。私たちが罪の力から贖い出し、それ以上、罪の支配を受けなくなりました。このような救いの方法は、福音に良く現れています（詩 130:7-8）

2. 私たちが自ら 贖いを適用できるのでしょうか。

キリストが、ご自身の血によって贖いを用意なさいました。そして、贖いの恩徳が恵みによって与えられるのです。このようにキリストが用意なさいた贖いの恩徳を、私たち自らの力によって自分自身に適用できません。人は罪と自罪によって死んでいるから、霊的なものを好まないし（ヨハネ 5:40）、意志もこのようなことを拒否するからです（ロマ 8:7）。霊的に死んでいるからキリストが成し遂げた贖いの恵みを大切に思ったり、必要としないのです。それらの価値を分らないからです（I コリント 2:14）。人は、新生していない自然的状態では、罪が遥かに自然なことで、罪から抜け出たい心などありません（ヨハネ 8:34、42-45）。従って、新生していない状態では贖いを必要としないのです。

質問 30 キリストが確保なさいた贖いを 聖霊がどのように適用なさいますか。

答え I キリストが確保なさいた贖いを 聖霊が 私たちのうちに信仰を起こさせ そして 私たちを有効召命において キリストに結びつけます。

1. 贖いの恵みを適用させるために 必要なことは 何ですか。

聖霊による、有効な適用の御業がなくではなりません（テトス 3:5-6）。聖霊

が罪人の目を開き、暗闇から光に、悪魔の権威から神に立ち返らせる御業がなく
てはなりません（使徒 26:18）。父なる神が選び、子が贖いを用意し、聖霊が適
用なさるのです（ヨハネ 6:57、63）。御子がそのために聖霊を遣わされ、聖霊
がキリストの贖いを適用させるのです（ヨハネ 14:7）。聖霊の有効な御業のた
めに神のみことばを聞かなければならない（ロマ 10:17）、読まなければなら
ないのです（Ⅱテモテ 3:15-16）。このような手段自体に力があるのではなく、聖
霊の御業が伴われる時に有効になるのです（Ⅰテサロニケ 1:5）。勿論、キリス
トを証しする聖霊の御業のために祈らなければなりません（ヨハネ 15:26）。

2. キリストが用意しておいた 贖いの恩徳は 何処にありますか。

キリストの中にあります（ヨハネ 3:35 : 1 ヨハネ 5:12）。従って、キリスト
の中にある贖いの恩徳を味わうために、キリストに結び付けられるべきです（Ⅰ
コリント 6:17）。キリストに結び付けさせるのは信仰です。キリストに対する
信仰があつてこそキリストに結合され、キリストの中にある贖いの恩徳が、信じ
る者たちに流れ入って来るのです。従って、聖霊による、信仰を発生させる御業
がなくではありません（エペソ 3:17）。それゆえ、聖霊を「信仰の霊」とも呼び
ます（Ⅱコリント 4:13）。

3. 聖霊が どのように信仰を発生させるのですか。

聖霊は、人々に罪人だという事実を悟らせて、神の裁きに直面していることを
知るようにさせます（ヨハネ 16:8 ; Ⅰコリント 12:13）。罪を悟った罪人は、神
の赦しが必要であることを知って、求めるようになります。この時、聖霊が、彼
らの心に御業を行って、キリストの中に、赦しと自分たちの不義を覆う義がある
ことを知るようにさせます（マルコ 2:17 ; ピリピ 3:12）。聖霊がこの時、意志
を更新させ、キリストに喜んで行けるようにさせ（ヨハネ 1:13）、救いの恩徳
を探し求めるようにさせます（黙 3:20）。それで罪人は、救いの恩徳がキリス

トの中にあることを知り、それを得るために、キリストに走って行き、キリストをつかむようになります。これらすべては、信仰を起こさせる聖霊の御業です。

質問 31. 有効召命とは 何ですか。

答え I 有効召命とは聖霊の御業であり 私たちに罪と悲惨さを悟らせてキリストを知る知識によって 私たちの心を目覚めさせ 私たちの意志を更新させ 私たちを説得し 福音によって 私たちに無償で提供されているキリストをつかむのを 可能にさせます。

1. 聖霊の有効召命において 第一段階は 何ですか。

罪と悲惨さを悟らせませす (使徒 2:37)。聖霊が罪を悟らせる時、原罪は勿論、自罪を知るようにさせ、特別に不信仰の罪を知るようにさせます (ヨハネ 16:9)。私たちに、神との交わりが断ち切られているのを悟らせ (II コリント 6:14-15)、神の怒りと呪いの下にいることを悟らせませす (イザヤ 33:14)。聖霊が、特に律法を使用して罪を知るようにさせ (ロマ 3:20)、罪の悪な性質までも知るようになさいます (ロマ 7:7)。聖霊は、罪に対する覚醒が起きるようにさせるだけでなく、罪による、恐れの中にいるようにもなさいます。この働きを「奴隷の霊」とも呼びます (ロマ 8:15)。聖霊が、有効召命をこのように始められる理由は、人々は自ら自分を回復させることはできず、救うこともできないことを認めさせるためです (ロマ 7:9)。

2. 聖霊の有効召命において 第二段階は 何ですか。

聖霊が、霊魂を覚醒させ、霊的理解力を与えることです (エペソ 1:18)。聖霊

の照明の御業によって、キリストを知る知識を持つようになります(ピリピ 3:8)。聖霊を「知恵と啓示の御霊」と呼びます(エペソ 1:17)。聖霊の御業によって暗闇と無知から解放されます(1 コリント 2:14; エペソ 5:8)。聖霊は、キリストの御霊として、キリストに対する知識を提供なさいますが、キリストの職務と義、完全さを知るようになさいます(ヨハネ 15:26)。聖霊が、救いの知識を与え、罪人がキリストに走って行けるようになさるのです(詩 9:10)。この時、聖霊が使用なさる手段は福音です(ロマ 10:17)。

3. 聖霊の有効召命において 第三段階は 何ですか。

聖霊が、意志を更新させます(詩 110:2-3)。意志が更新される以前は、救いと関連する霊的なものを選びもせず、選ぶこともできません。最も、どの人も、自ら自分の意志を新しくすることもできません(エレミヤ 13:23)。私たちの本来の自然的性向はキリストに対する敵対心で一杯でした(ヨハネ 5:40)。従って、ただ聖霊が、心に新しい霊的性向を植えさせてこそ霊的なことを選び、それに対して心が向けられます(エゼキエル 36:26)。聖霊が、意志を更新させてこそキリストをつかむようになります(ヨハネ 1:13)。このような聖霊の御業は、ただ選ばれた者たちにあるのです(使徒 13:48)。

質問 32. この世の生活において 有効に召される人たちが 得られる有益は何ですか。

答え I この世において 有効に召される人たちが 得られる有益は 義認 養子となる 聖化 そして それらから得られる 色々な有益です。

1. 有効に召されることと関連して 有益は 何ですか。

有効な召しによって発生される信仰を持ち、キリストを信じることで、キリストに結合されます。キリストに結合されれば、キリストの義によって、義と認められ（ピリピ 3:9）、神に向けられる新しい関心が生じ、神を「アバ・父」と呼ぶようになります（ヨハネ 20:17；ロマ 8:15）。キリストとの結合によって、頭となられるキリストから影響を受け、聖なる生活が始まるようになります（コロサイ 1:30）。終わりの日に義人の復活に同参することを、確信するようになります（I コリント 15:20）。信者がキリストに結合されて得られる恩徳は、死によって終わるものではありません（ロマ 8:38-39）。

質問 33. 義認とは 何ですか。

答え I 義認とは 神の値なしにくださる恵みの行為であり 神が 私たちのすべての罪を赦し その方の目に私たちを義なる者として受け入れてくださることです。それは 私たちにキリストの義を転嫁させることであり ただ信仰によってのみ 受け取られるのがキリストの義です。

1. 義認という意味は 何ですか。

義認とは、法廷的な用語であり、罪に定められることの反対の意味です。法廷で罪人たちに有罪が宣言されることに比して反対の意味として、無罪と宣言されることです（詩 109:7）。それは、正しい者として宣言されることですが（イザヤ 43:9、26）、正しい者とする方は、神なのです（ロマ 8:33）。父なる神は権威を持って正しい者と宣言なさるのですが（ロマ 3:26）、キリストが律法を守り、義を成し遂げられたことによって（使徒 5:31）、聖霊が、キリストの義を

適用させるのです（テトス 3:5）。

義認以前の罪人の状態は、有罪状態であり（ロマ 3:9）、罪の定めと、神の御怒りの下に置かれています（ガラテヤ 3:10）。しかし、信仰によってキリストと結びつけられ、キリストの義の中にいる者たちを、父が、義と認めると宣言なさるのです（イザヤ 45:25）。これを、神の行為と呼ばれる理由は、裁判長がただ一度、宣告することだからです（申 25:1）。父なる神は、キリストの中にある贖いを通して、恵みによって正しい者と宣言なさるのです（ロマ 3:24）。キリストは、義とする恵みを私たちに流し込ませる通路となります（エペソ 1:7）。

2. 義認の 第一の構成要素は 何ですか。

罪を赦してくださることです。父なる神が、キリストの贖いを根拠にして、罪人たちを律法の罪責から赦してくださることです（ロマ 8:1）。義認として受け入れてくださる前に、先ず、罪の赦しが必要な理由は、律法を犯したことに對する宣告をなくすためにです（ヘブル 8:10:13）。罪の赦しとは、罪責と永遠の神の怒りに對する責任を無にさせます（エペソ 2:3）。当然、受けるべき刑罰から放免されることです。キリストの内にいる者には、罪の定めがありません（ロマ 8:1）。

3. 義認の 第二の構成要素は 何ですか。

神が、私たちが正しい者と受け入れてくださるのです（エペソ 1:6）。これは、罪人たちに正しさがあってではなく、ただ、キリストの義のゆえです（エレミヤ 23:6；イザヤ 45:24）。これは、キリストの内にいることによって得られる恩徳です。キリストの義が、私たちが正しい者と思わせるのです。キリストは律法に對する完全な従順と、父に對する完全な従順によって義を確保されました。キリストの義が私たちに転嫁されて（ロマ 4:6）、神の律法に完全に従順した者のように、私たちが受け入れてくださるのです（ロマ 8:2；Ⅱコリント 5:21）。義の転嫁が無ければ、私たちは法的に、永遠の死から安全ではなく（ロマ 5:9）、永

遠の命に対する法的権利もないのです（ロマ 6:23）。神は、私たちの罪をキリストに転嫁させ、キリストがすべての審判を受けられて、キリストの従順によって獲得した義を、信じる者に転嫁させ、義なる者として受け入れてくださるのです。

4. 義認について 道具的原因は 何ですか。

外的な原因と内的な原因があります。外的な道具的原因は福音です。福音に神の義が啓示されています（ロマ 1:17）。内的な原因は信仰です（ロマ 10:10）。信仰が、私たちを義とさせる道具となります。義認とは、神の賜物であることを見せてくれます。信仰とは、まるで手と同じのようで、キリストの義を受け取ることで、私たちが義と認められます。ただ信仰によってキリストの義を受け取るのです（ロマ 2:22）。また、義認については、私たちの行為は徹底して排除されます。聖霊が有効な御業を適用させる時、すでに、自分の行為では律法を完全に守ることができないことを認めさせられ、ただ、神が用意なされた救いの恩徳を受けようとする、心を造って置いてくださるからです（ロマ 3:28）。

質問 34. 養子となるとは 何ですか。

答え I 養子となるとは 神の値なしにくださる恵みであり それによって 私たちは神の子らの数に入れられ 神の子らのあらゆる特権において 権利を持つ者となります。

1. 養子となれることが 神の値なしにくださる恵みである理由は 何ですか。

養子となるとは、人類の中で、特定な人々が神の家族として受け入れられ、神のすべての恩徳と愛を受けさせることですが（エペソ 1:5）、本来彼らは、裸のままの可哀そうな罪人たちだったからです（黙 3:17）。これを、神の恵みの行為と呼ぶのは、ただ一度きりに起きたことだったからです（エレミヤ 3:19）。人類の中で神の家族として受け入れられる人々の数字は定まっています（ヨハネ 17:2、9、12）。神の家族として受け入れられる手段は信仰です（ガラテヤ 3:26）。信仰は、私たちがキリストに結びつけ、キリストによって養子として受け入れられるのです（ガラテヤ 4:4-5）。

2. 神の子どもとなって 得られる特権は 何ですか。

養子となったことで天の市民権を得るようになり（エペソ 2:19）、天国を相続として受けられます。聖なる民となり、祭司と王のような存在になります（I ペテロ 2:9）。神の子どもとして、罪と律法の呪いから自由を味わうようになります（ヨハネ 8:36）。神を「父」と呼びながら、いつでも大胆に神に出て行けるのです（ロマ 4:20-21）。神の子どもは、すべての約束の有益を得られます。約束は、神の子どもに変わらない保証に該当されます（ヘブル 6:17）。懲らしめを通して私たちは癒されます（ヘブル 12:10）。養子となった特権の中で一つは、聖霊による慰めを受けることです（ヨハネ 7:38-39、16:3）。

3. 養子となれた証拠は 何ですか。

養子となって、初めに表れる証拠は、神を愛することです（I ヨハネ 5:1）。神を愛することは、神の戒めを楽しみながら守ることです（I ヨハネ 5:3）。また、神の家族に入っている他の兄弟たちを愛するようになります（I ヨハネ 5:1-2）。子どもたちが、父に似るように、神に似て行くしかないようになり（I ヨハネ 3:2）、養子となった者たちは、父の声を知ってその声について行きます（ヨハネ 10:4）。子どもたちが父と同行するのを楽しむように、神と同行します（ロ

マ 8:15) 。父が自分たちの近くにいるのか、あるいは、離れているのかを確かめ、子供たちは確認するように、神の臨在に対する関心も大きいのです (ヨブ 33:3) 。

質問 35. 聖化とは 何ですか。

答え I 聖化とは 神の値なしにくださる恵みの御業であり それによって私たちは 神の形に従ってその人全体が更新され ますます罪に対して 死に 義に対して生きることができるようになります。

1. 神の恵みによって 聖なる者となれたとは 何を意味しますか。

聖化とは、決定的聖化 (definitive sanctification) と、漸進的聖化 (progressive sanctification) とに区分します。決定的聖化とは、信仰によってキリストの内にいることによって、聖霊の御業によってただ一度に区別されることを意味します。聖なる用度のために区別されたということです (I コリント 1:2) 。罪人は自ら聖なる人と区別されることはできません (ヨブ 14:4) 。これは、聖霊の特別な御業です (II テサロニケ 2:13) 。神が、特定な人々をこのように区別させるべき責任と義務はありません。神が、特定な人々を区別させるのは主権的な恵みであり、神ご自身の楽しみから出て来たことです (ピリピ 2:13) 。

2. 漸進的に 聖なる人となっていく 理由は何ですか。

キリストによって聖なる者とされたのですが (決定的聖化) 、信者は、まだこの世に生きていて、肉の中にいますし、信者を誘惑する悪魔がいるから漸進的に

聖なる者となるのです。これを「漸進的聖化」と呼びます（Iテサロニケ 4:2）。漸進的聖化とは「实际的聖化」（acruial sanctification）とも呼び（エペソ 2:10）、罪に対して死ぬこと（mortification）と、義に対して生きること（vivification）とに構成されます。信者がこの世において、肉の中にいるから、内面に罪の力が残っていて、聖霊によって死なせなければなりません（ロマ 8:13）。

罪に対して死ぬというのは、罪を憎んで、罪に対して戦うことを含めます（ロマ 6:6）。これは、自然的な力と能力によってできるのではなく、ただ聖霊によって成るのです。義に対して生きるとは、神の法に一致する生活を追い求めることを意味します。勿論、漸進的聖化は、この地において完全に至るという意味ではありません。従って、死を迎えたりキリストが再び来られるまで、聖霊の助けを受けなければならないのです。

3. 聖化が 神の形の回復と呼ばれる 理由は何ですか。

有効な召しとは、神の形の回復の始まりです。聖化によって、来る人々が神の形に更新されます。聖化には程度がありますが、結局、栄光の完全さまで至るのです（ピリピ 1:6）。心に植えられた恵みの原理が（ヨハネ 1:13）聖霊によって拡張され、成長し、体と霊魂全体に影響を及ぼすのが聖化です（エペソ 2:10）。神の形は、知識と義と聖によって構成されています（コロサイ 3:10;エペソ 4:24）。聖化は、キリストの内にあつて聖霊の御業によってなります（Iコリント 13:9-10）。聖霊によって義と聖を追求し、神の形の回復に進み行けるのです。

4. 義認と聖化は どのように区別されますか。

義認と聖化は、区別されますが分離することはできません（ロマ 8:30）。しかし、義認と聖化は様々な側面で区別されます。義認はキリストの義と関係があり、聖化はキリストと信者との交わりが関連されます（ヨハネ 1:16）。義認は、キリストの義が私たちに転嫁されることであり、聖化は、キリストの恵みが私た

ちの内に植えられることです。義認は、関係的な変化を意味しますが、聖化は、実際的な変化を意味します。従って、義認によって身分の変化が起き、聖化によって心と生き方に変化が起きるのです（エゼキエル 36:26）。義認は、ただ一度に行われ、完全なことです。一方、聖化は、漸進的に起きることです。一方で、義認と聖化が分離できないのは、義認の証拠が聖化であるからです。聖なることを追い求める聖化が見えないのなら、義認は起きていないのです（ヤコブ 2:18）。

5. 聖化が 必ず 必要な理由は なぜですか。

聖化がなければ義認は起きていないのです。もし、生活のなかで、聖を追求する聖化がなければ、その靈魂には義認は起きていないのです。聖化は、義認の証拠部分であるから、必ずあるべきです。ところが、神が私たちを選んだ時、目的があったのですが、それが、聖化です（エペソ 1:4；ロマ 8:29）。つまり、聖化があってこそ、その人が選ばれた民なのかが確認できます。最もキリストは、実をもって木を確認すると語られました（マタイ 12:33、7:20）。聖化がなければ、その人は、救いの民ではないということです。従って、聖くなければ、だれも主を見ることはできませんと、聖書は語っています（ヘブル 12:14）。聖化は、神が私たちを召した目的であり（Iテサロニケ 4:7）、そして救いの部分でありながら、証拠であるので、必ず、なくてはなりません。

質問 36. 義認 養子となる 聖化と伴い この世において 生活の中で得られる有益は何ですか。

答え I 義認 養子となる 聖化と伴い この世において 生活の中で得られる有益は 神の愛に対する確信と 良心の平安 聖霊による喜び 恵みの増加 最後まで堅忍です。

1. 義認 養子となる 聖化を認識することで得られる 第一の有益は何ですか。

神の愛に対する確信を得られることです（ロマ 5:5）。信者は、時々、自分の恵みの状態について疑いを持ったり、恐れの中にいたりもします（イザヤ 49:14）。罪を犯したり、聖霊を悲しませたりしながら、疑いの状態に陥ったりもします（エペソ 4:30）。しかし、このような状態で、義と認められたことを考えた時、神の愛について確信するようになり、疑いからも抜け出すことができます（詩 103:3-4）。勿論、養子となったことを考えながら、自分が神の家族の一員となれたという考えによって、恐れから抜け出られます（詩 103:13）。聖化の状態を認識することによって、肉の腐敗性を殺そうと労苦することで、神の愛に対して確信を得られます。

2. 義認 養子となる 聖化を認識することで得られる 第二の有益は何ですか。

内的に心の静けさと平安を得られます。義認、養子となる、聖化がない者たちは、決して良心の平安を得ることができないのは、それは罪人だからです（イザヤ 57:21）。義認から流れ出る良心の平安は、キリストの血潮が神の怒りを鎮められたことから来ます（ヘブル 10:22）。キリストによって、神が私たちの父だということが、良心の平安をもたらします（エレミヤ 3:4）。信者として聖なる義務を果たすとき、聖霊が助けることを認識することで、良心の平安を得られます（詩 138:3）。勿論、信者が、良心の平安をいつも持っているわけではありません。自分が成し得たことに安住したり（詩 30:6-7）、悪魔の誘惑に自分を任せたり（イザヤ 54:11）、この世的なもので安全を保たせようとしたりすれば、良心の平安は失われます。従って、霊的に注意を払いながら、神を喜ばせようとする努力が必要です（詩 119:165）。

3. 義認 養子となる 聖化を認識することで得られる 第三の有益は何ですか。

聖霊による喜びです。先ず、義認によって、聖霊の内に喜びが得られますが、

キリストの血潮によって私たちが聖なるところに入って行けるからです（ヘブル 10:19）。聖霊自ら、私たちが神の家族になれたことを証ししてくださることで喜びがあふれます（ロマ 8:15-16）。聖化によって、聖霊の喜びを味わえますが、聖霊自ら、彼らの義務遂行に対して真実性を証ししてくださるからです（II コリント 1:12）。聖霊によって得られる喜びは、この世を通して得られる一時的な喜びとは区別されます（マタイ 13:20）。聖霊によって得られる喜びは、聖霊は聖くなるように（II コリント 3:18）、霊魂を最上の喜びで満たし（ネヘミヤ 8:10）、謙遜にさせる（ヨブ 42:5-6）ことによって来るのです。

4. 義認 養子となる 聖化を認識することで得られる 第四の有益は何ですか。

恵みの増加です。キリストに結び合わされていることで起きる、恵みの証拠です（コロサイ 2:19）。これは、キリストの豊さがその原因です（エペソ 4:13）。義認によって恵みの成長がある理由は、神に仕えることにも、法的に自由があるからです（ガラテヤ 5:1）。養子となれたことによる恵みの増加は、新しく生まれた子どもは純粋な乳を慕い求めるからです（I ペテロ 2:2）。キリストにあって、キリストに似ようとするので恵みの増加があります（I ヨハネ 3:2）。もし、成長が止まっているのなら、信仰が機能していない証拠ですが（詩 27:13）、信仰とは、キリストにある恵みが信者に流れ込むようにさせる道管（pipe）と同じだからです。このような場合は自己点検が必要です（II コリント 13:5）。

5. 義認 養子となる 聖化を認識することで得られる 第五の有益は何ですか。

恵みの状態を持続し、敬虔の実践を習慣化し、最後まで信仰を守ることです（ヨハネ 10:28）。まことに義と認められ、養子として受け入れられ、聖化の中にいるなら、恵み状態から落ちて墮落に至ることはありません。キリストにあってキリストが守るからです（ヨハネ 17:12）。それは、選びの不変性（エレミヤ 31:3）と、キリストとの結び合いをだれも断ち切ることができないこと（ロマ

8:38-39)、キリストの執り成し(ルカ 22:32)、聖霊の内住(ヨハネ 14:16)、神の御力によることです(1ペテロ 1:5)。このような堅忍の恵みは、義と認められ、養子として受け入れられ、聖霊をお与え、信者に内住させた、神の真実さと善から出て来ます(ヨハネ 17:11)。

質問 37. 信者が死ぬとき キリストから受けられる 有益は何ですか。

答え I 信者が死ぬとき 信者の霊魂は 完全に聖くされ 直ちに栄光に入ります。そして 彼らの体は なおキリストに結び合わされ 復活の時まで 彼らの墓で休みます。

1. 信者の死と 未信者の死とは どのような差がありますか。

信者が死ぬ時には、恵み契約の約束に従って、死のとげはありません(1コリント 3:22)。しかし、未信者が死ぬ時には、行為契約の脅かしに従って死のとげがあります。死が打つとげとは、罪による呪いのことです(1コリント 15:56; ガラテヤ 3:10)。信者のために、キリストが、ご自分の霊魂と体によって、死の打つとげに打たれました。しかし、神は、死に対する勝利を約束なさいました(イザヤ 25:8)。キリストが、信者たちのために、死の打つとげを武装解除させました(1コリント 15:57)。信者は死ぬ時、キリストからあらゆる有益を受けるようになります。

2. 信者が死ぬとき 霊魂と関連して

キリストから受けられる 有益は何ですか。

主は、ご自身を呼ばれる時、「わたしは、アブラハムの神、イサクの神、ヤコブの神である」と仰せられました。アブラハムとイサクとヤコブはすでに死んでいるにも関わらず、ご自分のことをそう語られたのです。それは、彼らの霊魂が死んでいないことを意味します。最も、神は、死んだ者の神ではありません。生きている者の神です（マタイ 22:32）。また聖書は、信者の死のことを、この地を離れ、天の居住地に移されることと語っています（Ⅱコリント 5:1）。信者は死を通して、霊魂は完全に聖くされ、それ以上、罪となる状態にはならないことです。すべての罪から自由になります（黙 21:4）。そして、信者の霊魂は、直ちに栄光に入ります。ラザロが、天使たちによってアブラハムの懐にいるようになったのと同じようになります（ルカ 16:22）。救われた強盗が、キリストと共にパラダイスにいるようになる状態です（ルカ 23:43）。

3. 信者が死ぬとき 体と関連して

キリストから受けられる 有益は何ですか。

信者たちの体は、キリストと結び合わされ、復活の時まで、彼らの墓で休みます（イザヤ 57:2；ヨブ 19:26）。彼らの体が墓にいたとしても、キリストとの結合は引き離されません（イザヤ 26:19；ロマ 8:38-39）。信者には、墓が安息の場所になりますが、未信者には、最後の審判のために拘禁される監獄と同じ場所です（ダニエル 12:2）。信者は、すべての者が復活するその日まで墓で安息します（ヨハネ 5:29）。信者の死は、失うのではなく得ることです。従って、キリストにあって死ぬのが、どれほど幸せなことなのかを考え、死に対して恐れてはなりません。

質問 38. 復活の時 信者が キリストから受けられる 有益は何ですか。

答え I 復活の時 信者は 栄光ある者によみがえらされ 裁きの日に 公に無罪と承認されます。永久に 神を楽しみながら 全き幸いな状態になります。

1. 復活の時 だれが復活するのですか。

正しい者と悪者、皆が復活します（使徒 24:15）。ラッパを吹く御使いのかしらが神の勝利を叫びながら、キリストが天から来られる時、すべての人の復活が起きます（I テサロニケ 4:16）。先ず、主にあつて死んだ者たちがよみがえります（II テサロニケ 4:16）。彼らの体は、復活されたキリストの体と同じように健康で、靈的で、朽ちない、無くならない、最も美しく、栄光ある体になるでしょう（I コリント 15:42-44）。このような変化は一瞬にして起きるでしょう（I コリント 15:52）。敬虔な者たちは、キリストの靈によって大きな喜びの中でよみがえるでしょう（イザヤ 26:19）。悪者たちもキリストによって起こされますが、この時、キリストは裁き主です。それゆえ、彼らは言いようもない恐れの中で起こされます。キリストの御力によって彼らは、永遠の滅びの刑罰を受けるのです（II テサロニケ 1:9）。

2. 信者は 栄光ある者によみがえらされるとは 何を意味しますか。

信者は栄光ある者によみがえらされるとは（I コリント 15:43）、彼らの体が朽ちないで、栄光の中で、強い者に、靈的な体を持つということです（I コリント 15:42-44）。復活された体は、それ以上、病気や死に屈服されることなく、青年のように活力ある永遠の体です（イザヤ 33:24）。彼らの体は、キリストの

栄光の体と同じです（ピリピ 3:21）。霊的な体というのは、眠ることもなく、お腹が空くこともない体です（黙 6:15-16）。高い水準の状態、新しい天と新しい地に居住するのに相応しい体です。この体は、聖霊の完全な支配下にいるから、霊的な体です（I コリント 15:44）。

3. 死人の復活の後に どのようなことがありますか。

キリストが裁きを施行なさいます（マタイ 25:31；黙 20:13）。父なる神が、キリストにすべての審判を委任なさいました（ヨハネ 5:22）。すべての人が復活して、キリストの審判台の前に出て来るようになるでしょう（マタイ 13:41）。未信者と悪人たちには、神の御怒りの日となります（II テサロニケ 1:8-9）。信者と敬虔な者たちには、贖いが完成される日です（ルカ 21:28）。審判の日に信者には特権が与えられますが、キリストによって無罪宣告を受け、神の国に相応しい者として公に認められます（マタイ 25:34）。このことが、公に進行される理由は、信者たちを慰め、信者の敵たちを恥ずかしめるためにです（イザヤ 66:5）。

4. 裁きの後 信者が受ける 幸いは 何ですか。

永久に神を楽しむ、完全な幸せな状態に入ります（I テサロニケ 4:17；詩 63:25）。すべての祝福を所有するようになります（黙 21:4）。信者は、神を完全に知る状態でいながら（I コリント 13:12）、神の無限なる愛を楽しみながら喜びます（詩 16:11）。復活後の信者の状態に対するみことばは、この地にいる信者たちに、傷のない聖なる生活を追い求めさせます（II ペテロ 3:14）。最後の日に判断されないためには、自己判断しながら見回らないなりません（I コリント 11:31）。慎みながら祈らなければなりません（II ペテロ 4:17）。最後に対する望みを持たなければなりません（II ペテロ 1:13）。